

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし市食育推進会議		
開催日時	令和5(2023)年11月15日(水) 午後3時から午後4時30分まで		
開催場所	ふれあい交流館1階 102会議室		
出席者	<p>【会長】村田副市長</p> <p>【委員】加藤知子委員、小野田加代子委員、小野田勝輝委員、青木正也委員、林晴子委員、堀本さなえ委員(代理出席:近藤愛里氏)、岩下智沙委員、柘植知則委員、新谷千晶委員、小川雄二委員、兼平奈奈委員、</p> <p>【助言者】林禎二助言者、杉原孝子助言者(代理出席:石川文代氏)、近藤貴子助言者、野々山紘美助言者</p> <p>【事務局】成田市民経済部長、原田市民経済部次長兼産業振興課長、森下副主幹、出口主事、藤森保険健康課長、星野主事、衣斐副園長、長谷川主幹、岡田主任主査、松永主任主査、豊田加茂農林水産事務所農政課中畑主事</p>		
次回開催予定日	令和5(2023)年12月25日(月)		
問合せ先	市民経済部産業振興課 森下・出口 電話 0561-32-8015(直通) メール sangyo@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録全文 ・ 議事録要約 	要約した理由	
審議経過	別紙会議録参照		

原田次長	<p>定刻となりましたので、ただいまから「みよし市食育推進会議」を始めさせていただきます。</p> <p>はじめに、礼の交換をしたいと思いますので、ご起立ください。一同礼。ご着席ください。</p> <p>申し遅れましたが、本日の会議の進行を務めさせていただきます。産業振興課長の原田と申します。</p> <p>本日の会議は、みよし市食育推進会議条例に基づいて開催される会議です。また、みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱第6条に基づき、会議はすべて公開となりますので、あらかじめご了承ください。なお、傍聴者の方はおられません。</p> <p>それでは、お手元の会議次第により進めて参ります。</p> <p>次第の1 本推進会議の会長であります副市長の村田から、御挨拶を申し上げます。</p>
村田会長	<p>本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本市と友好提携を結んでいる、アメリカのコロンバス市民の方がいらっしゃって、市役所と市内各所を回り、一緒にランチに行っていました。定食や井などを頼まれていましたが、食べるものの嗜好が違って、食は人それぞれなのだなど実感しました。</p> <p>あと本日の午前中には、いきいきクラブの皆さんが芸能発表会をやっておりまして、皆さんとてもお元気で、こういったところにも食育が繋がっているのではないかと考えておりました。</p> <p>前回、皆様にいただいたご意見を反映させて、9月にアンケート調査を行いましたので、その結果を提示させていただきます。後程、第4次推進計画の骨子（案）についてご審議いただきまして、その内容を反映させて第4次推進計画（案）を作成していく予定です。</p> <p>限られた期間の中でお願いさせていただいた部分もあるかと思いますが、審議いただいて進めて参りますので、よろしく願いいたします。</p>
原田次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議出席委員は11名です。条例第7条第3項の規定による過半数に達しておりますので、本日の会議は成立しております。</p> <p>また、事前に委員の豊川様、奥村様、雪江様、堀本様、宮崎様、増岡</p>

	<p>様、助言者の杉原様からご欠席の連絡を、また、委員の堀本様の代理で近藤様が、助言者の杉原様の代理で石川様が代理出席との連絡を受けましたので、ご報告いたします。</p> <p>議事に入る前に、お手元の会議資料を確認いたします。本日の資料として、事前に会議次第・委員名簿・第4次みよし市食育推進計画骨子（案）をお送りしました。また、配席表・アンケート結果を本日、机上に配付させていただいております。お手元にご案内した書類が欠落してありましたら、お申し出ください。</p> <p>次第の2 それでは、これより議事に入ります。</p> <p>議事の進行につきましては、条例第7条第2項の規定により、会長が議長になるとありますので、村田会長にお願いします。</p> <p>村田会長 それでは、次第に従いまして議事を進めてまいりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>議題（1）の「アンケート調査結果について」、事務局より説明をお願いします。</p> <p>出口主事 それでは、議題1につきまして事務局よりご説明申し上げます。前回の食育推進会議において、委員・助言者の皆様よりアンケートに関する貴重なご意見をいただきありがとうございました。9月中にアンケートを実施し、集計が終了しましたので結果を報告させていただきます。</p> <p>本日机上に配布した、資料「アンケート結果」をご覧ください。アンケート調査目的は、第3次計画の進捗状況を評価することと、第4次計画策定のための基礎資料を得ることです。</p> <p>1ページの「(1) 調査の概要」をご覧ください。調査対象は、園児・小2の保護者、小5・中2、高校生、一般の18才以上。配布数や回収状況につきましては、1ページに添付の表のとおりです。一般アンケートの60歳以上の方のみ、アンケートを郵送で回答するか、WEBアンケートで回答するか、選択できる形としました。前回の会議後に一般の中でも高齢者と分けてほしいというご意見がありました。アンケートで年齢を尋ねる質問項目は回答を「60～69歳」というように10歳刻みにしたため、18歳以上64歳以下、65歳以上と分けて分析を行うことができず、今回は18歳以上69歳以下、70歳以上と分類し分析を行いました。また、70歳以上の年齢枠は</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

前例がなく、第3次計画の評価として比較ができないため、14ページ以降の「第3次みよし市食育推進計画の評価」には、70歳以上の枠はありません。ご了承ください。

次に、2ページの「(2) 調査結果」をご覧ください。

こちらは、基本目標に沿ったアンケート項目の集計結果です。4ページの「④-2 郷土料理を知っている人について」という項目では、小学2年生・園児の認知度が高校2年生と小学5年生、中学2年生と比べると低いことがわかります。また、5ページの「⑦朝食に野菜を食べている人について」という項目では、70歳以上は「ほぼ毎日食べている」割合が半数を超えていることに対し、それ以外の年代では、「ほとんど食べていない」割合が半数近くを占めています。69歳までの年代では、朝食に野菜を取っていない人が多くいることがわかります。その他の項目も同様ですので、ご確認ください。

次に10ページの第3次みよし市食育推進計画の評価をご覧ください。基本目標に沿ったそれぞれの目標項目の達成状況をまとめました。

達成状況を検討するために、当初値(H30)、目標値(R5)、現状値(R5)、評価の4つを算出しています。当初値は前回のアンケート調査の結果、目標値は前回のアンケート調査の結果から目標年度に向けて設定した値、現状値は今回のアンケート調査の結果、評価は、「第3次みよし市食育推進計画」の目標項目について、達成したものをA、目標値を達成していないが、当初値に比べ改善したものをB、当初値に比べ悪化したものをC、評価不能項目をDとしました。

評価の付け方について、簡単に説明をさせていただきます。基本目標1 人づくりの(1)①「『いただきます』『ごちそうさま』のあいさつをする人を増やす」の中2・小5の欄をご覧ください。平成30年度の第3次計画策定時のアンケート調査の結果を当初値として70.9%。その平成31年に設定した令和5年に向けた目標値が80%。今回のアンケートの結果が現状値79.1%と記載されています。この中2・小5の項目は、当初値70.9%に比べ現状値が79.1%と改善がみられますが、目標値80%に達していないため、評価はBとなっています。

続いて14ページをご覧ください。基本目標2 健康づくりの(2)「望ましい食習慣を身に付け、過度な痩身(そうしん)と肥満や生活習慣病の予防」の「⑫生活習慣病の認知度を増やす」の項目については、H30の当初値、R5の目標値の記載がなく、評価がD評価の不能と

なっております。こちらは、注にもあるとおり、前回計画策定時は「メタボリックシンドローム」の認知度について調査を行いました。が、認知度が9割程度だったことや、愛知県の計画では肥満や過度な痩身・生活習慣病について言及していたことから、今回は疾患の総称である「生活習慣病」に変更し認知度の調査を行いました。そのため、当初値（H30）と目標値（R5）が斜線となっており、今回のアンケート結果の提示のみとなっております。

今から、3つの基本目標ごとに第3次食育推進計画の評価について説明いたします。10ページを再度ご覧ください。「基本目標1～人づくり～食の大切さや、楽しさがわかる心豊かな人を育てます」については、「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をする人の割合が増加し、農作業の栽培体験については、18歳以上、高2、小2園児が、料理教室への参加については、18歳以上、高2で改善が見られ、食の楽しさや食への理解促進について若干改善していると考えられます。

また、11ページの「農作物の栽培体験や料理教室（料理の手伝い）の参加状況」についてですが、12ページに掲載のグラフに【食事について「感謝する」気持ちの度合いと、学校以外の場所での農作物の栽培体験や手伝いの有無について】と【「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつの頻度と親子や個人での料理教室への参加有無について】とあります。こちらは、農作物の栽培体験もしくは親子や個人での料理教室の参加をしたことがある人及び参加したことはないが、機会があれば体験したいという意欲がある人が【ある及び体験意志あり】に分類されており、参加したことが無く、機会があっても参加するかわからない及び参加したくないという参加の意欲が無い人が【ない】に分類されています。

農作業・料理教室の体験がある人や体験してみたい人は、体験がなく体験の意志が無い人に比べ「食事に対していつも感謝の気持ちを持っている」割合が高くなっています。農作物や食事など、食を作るといった経験により、食への感謝の気持ちを育むことができると考えられるため、食を作る体験ができる機会を充実することが必要です。

続いて13ページをご覧ください。「基本目標2～健康づくり～食を通して、健康な体を育みます」については、朝食の欠食は18歳以上で改善が見られましたが、学齢期は悪化しています。朝食における野菜の摂取、食事の栄養バランスに気を付けるなど、基本施策（1）のバランスのとれた食生活の実施については改善傾向があります。ま

	<p>た、適正体重を維持する食事量の理解や食の安全に関する項目は改善しており、よく噛んで食べることは目標値を達成しました。</p> <p>18ページをご覧ください。「③栄養バランスを考えた食事の状況とBMIの状況について」ですが、栄養バランスを考えた食事に気を付けているもしくはときどき気を付けている人は、BMI値が標準の割合が高く、気を付けていない人ほど肥満の割合が高くなっています。日頃の食生活の乱れや栄養の偏りは、肥満や生活習慣病の一因となっており、バランスのとれた食生活を送ることが重要だとわかります。</p> <p>続いて、20ページをご覧ください。「基本目標3～環境づくり～食に関する環境を整えます」について、無駄や廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合は目標を達成しており、環境にやさしい食生活や活動が進んでいることがうかがえます。また、地元食材をいつも購入するように努めている人の割合は改善しており、「いつも購入するようにしている」人の割合だけではなく、「ときどき購入するようにしている」人の割合も増加しており、地産地消の意識が高まっています。</p> <p>以上がアンケート集計結果の御報告及び御説明となります。</p>
村田会長	<p>今の説明について、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>(意見・質問無し)</p>
村田会長	<p>続きまして、議題(2)の「第4次食育推進計画骨子(案)について」事務局より説明をお願いします。</p>
出口主事	<p>議題2の(2)第4次みよし市食育推進計画の骨子(案)の説明をします。A3の第4次みよし市食育推進計画の骨子(案)をご覧ください。</p> <p>資料の左から国の第4次食育推進基本計画、愛知県のあいち食育いきいきプラン2025、資料の右半分には、みよし市の第4次計画の体系(案)があります。</p> <p>みよし市の第3次計画の基本目標として、人づくり・健康づくり・環境づくりの3つを掲げておりましたが、アンケート調査の結果、議題(1)でお伝えした通り評価しました。A3の用紙にも記載がありますのでご確認ください。</p>

	<p>これらを受けての第4次計画の骨子(案)ですが、基本目標に変更はなく、第3次計画同様に人づくり、健康づくり、環境づくりの3本立てとしたいと考えています。</p> <p>また、基本施策についても、大きな変更は無く、「人づくり」(1)食の正しい知識を身に付け、食に対する感謝の心を持つ豊かな人間性の育成、(2)楽しい食事の場づくりの大切さを周知、(3)農作物の栽培や料理教室など、体験型の学習や交流を通じた食への理解促進、(4)食文化や郷土料理等の理解と継承、(5)食育を広めるための人材育成や関係者との連携強化、(6)食育に関する情報提供や普及啓発、「健康づくり」(1)バランスのとれた食生活の実施、(2)生活習慣病や適切体重維持の推進、(3)食の安全についての関心や知識の向上、「環境づくり」(1)環境にやさしい食生活や活動の推進、(2)地産地消の推進 としました。</p> <p>第3次計画との変更点としては、2点ございます。</p> <p>1点目は、SDGsの目標達成に貢献する食育の取組の推進です。国は「SDGsアクションプラン2019」において、国連サミットで採択されたSDGsに係る「あらゆる人々が活躍する社会」の実現に向けた「次世代の教育振興」施策として、2018年12月に「食育の推進」を位置づけました。第4次計画では、17の目標を基本施策に当てはめて、SDGsの達成に貢献する食育の取組を推進していきます。</p> <p>2点目は、カーボンニュートラルの実現に貢献する食育の取組の推進です。「カーボンニュートラル」とは、温室効果ガスの排出量と吸収量を全体として差し引きをゼロにすることを意味します。みよし市では、令和元年12月に、地球温暖化の主な原因の一つである二酸化炭素について、令和3年までに市内の二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。</p> <p>基本目標3～環境づくり～食に関する環境を整えます」において、食を通じたカーボンニュートラルの取組をとりまとめ、カーボンニュートラルの実現に貢献する食育の取組を推進していきます。</p> <p>以上、第4次食育推進計画骨子(案)についての御説明です。</p> <p>村田会長 今の説明について、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>新谷委員 率直な感想ですが、結果を見ると優等生なイメージがあります。小学生から高校生は先生方が声掛けをしてくださってこの回答率だと思うのですが、一般の回答してくださった3割の方は、元々食育に関心のある</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>小川委員</p>	<p>方なのではないかと思いました。</p> <p>現在の計画の冊子に回答率が載っているのですが、前は回答率がとても高かったです。回答率が高いと好ましくない回答が入っていることがあり、回答率が低いと好ましい回答が多いということがあり、食育に関心の高い方が回答していることが分かり、それを考慮する必要があると思います。</p> <p>また、第4次計画の変更点として、SDGs とカーボンニュートラルを入れていただいておりますが、具体的にどのあたりに入ることになりますか。</p>
<p>村田会長</p>	<p>事務局より説明をお願いします。</p>
<p>出口主事</p>	<p>今ご質問があった件について、まず SDGs ですが、各目標施策に17つの目標の中からマークを選択する予定です。カーボンニュートラルについては、「基本目標3～環境づくり～食に関する環境を整えます」の部分に入れ込む予定です。基本施策で新たに付け加えるのではなく、すでに基本施策にある地産地消や食品ロスを減らす取り組みなども、カーボンニュートラルにつながると考えており、その取り組みを推進するコラムを掲載するなど、内容の拡充を考えております。以上です。</p>
<p>兼平委員</p>	<p>先ほどご説明のあったカーボンニュートラルについてですが、「環境にやさしい食生活の実践」ということで、良い取組だと感じました。食品ロスの問題がありますので、農業が盛んな地域なこともあり肥料にサイクルする活動などを触れることでみよらしさが出る計画になるのではないかと思います。</p> <p>また、私自身名古屋市に住んでいまして、名古屋市と比べると、朝食の欠食率が低かったり、よく噛んで食事をする人の割合も高かったりと、良い部分はあると感じました。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>祖父母と一緒に住んでいることで、常に朝食にはご飯とみそ汁がセットで、どこに出かけてもその習慣が根付いていました。その習慣を親御さんが持てると、こどもにも根付いていくのではないかと思います。</p>
<p>小野田 (加) 委員</p>	<p>70歳以上の方が毎日野菜を食べていると回答している割合が高いことに対し、食育にはあまり関心が無いという結果だったため、高齢者の</p>

<p>青木委員</p>	<p>方にとっては、食育が当たり前であるからこのような結果になっているのかなと思いました。逆に、若い方は、親と子の核家族なのか、2世帯住宅なのか、それによっても結果の見え方が変わると思うし、ここ2～3年はコロナの影響があったので、この結果全てをそのまま受け止めていいものかと思いました。</p> <p>また、中学校の先生から伺いましたが、中学生の子が果物をあまり食べないというお話がありました。特に柿を食べることができないという子が多いようで、特産品がそういう存在なのが少し寂しいように感じました。</p> <p>商工会代表で来ているのですが、食育の中で一番押さえたいところはどこなのでしょう。こどもなのか、大人なのか、欠食なのか、郷土料理なのか、市として押さえたいポイントはどこですか。</p>
<p>森下副主幹</p>	<p>食育は元々食事を通じて健康な体と心を育む環境を作って人を育てるという理念があると理解をしています。みよし市の計画では、何か一つに絞るわけではなく、基本目標が人づくり、健康づくり、環境づくりの3つの柱がありますので、こういうことをすれば健康的な食生活を送れるということを提示したり、家族そろって食事をとれる状態に環境を整備したりすることで、理想の部分ではありますが示していければと思っています。</p>
<p>林委員</p>	<p>以前は誕生日会にケーキが出ると喜ぶ園児が多かったですが、今は「え、ケーキ？」という反応も多く、食に興味がありません。食に興味がない子が増えているように思います。</p> <p>保育園の取組としては、食事をするのが楽しいという気持ちが1番大きくなるように取り組んでいます。それを感じたうえで、食事への感謝やいただきます・ごちそうさまのあいさつにつながるのではないかと考えています。それを保育園のうちに感じることで、一生につながっていけばいいなと思い保育をさせていただいています。</p> <p>アンケートの結果についても、保護者も食への関心も薄いように感じました。保護者への発信も重要だと感じました。</p>
<p>近藤氏(代理出席)</p>	<p>林委員がおっしゃっていたように、野菜嫌いのこどもが多いように思います。一口でも野菜を食べてもらいたいと思うのですが食べることができず、保護者の方に聞いてみても家でも食べないそうです。家でお母</p>

岩下委員	<p>さんが一口でも食べなさい、という声掛けが無いと、幼稚園では食べてくれません。園と家両方での取組が必要だとアンケート結果を見てより実感しました。</p> <p>こどもの通う園では、実際に土に触れるお芋掘りや柿・梨・ぶどうの収穫体験をしたり、恵方巻をみんなで作ったりと、食の楽しさや大切さを学ぶ機会が多くあり、目標の「人づくり」の部分をやっていただいているなと感じました。</p> <p>家庭でも、園で配布される給食だよりや食育だよりは親が見るだけだったので、こどもと「今日の給食はこの食材が使われていたんだね」とコミュニケーションを取ることで、幼稚園・保育園で先生方が頑張っていることを家庭でも継続できるようにやっていきたいと思いました。</p>
柘植委員	<p>今回アンケートの件ですが、2学期に2学年の生徒に依頼をして行いました。回答については、生徒自身が一生懸命考えている様子もうかがえました。本校の実情としては、一般の高校とは少々毛色が違う部分もあるため、委員の皆様にはご理解をいただけるとありがたいのですが、本校はスポーツ科学科があるものですから、食に対してきちんと考えている生徒もおります。寮で生活をしている生徒は、ボリュームがありバランスのとれた食事をしていて意識の高い生徒もいれば、実家から普通科に通っている生徒は朝ご飯が食べられない生徒もいて、元気がない生徒に朝ご飯を食べたか尋ねると食べていないというケースもあります。</p> <p>アンケートの結果を確認すると、朝食の欠食割合が高く、学校の職員としては生徒に呼び掛けていく必要があると実感しております。また、栄養バランスに関しては、気を付けている生徒が多いのかなと思います。コンビニで食べ物を購入する際に、野菜が入っているものや彩りがきれいなものを選んでいく姿を見かけたことがありますので、そういった部分では意識をしているのかなと思います。</p> <p>第3次計画の概要版を拝見しますと、重点取組を「バランスのとれた食生活の実践」ということで掲げておりますが、今回は重点項目をどこに置くのか精査する必要があるかと思いました。</p> <p>親の立場からしても、保育士の方幼稚園の先生方、小中学校でも苦労されているとは思いますが、楽しく・美味しく食べることができるとい部分でも取組ができるとよいかなと思います。</p>

<p>兼平委員</p>	<p>すみません、よろしいでしょうか。</p> <p>朝食の欠食割合を減らすという点で、当初値よりも悪化している部分がありますが、栄養のバランスに気を付けている方の割合は増えているということで、栄養のバランスに気を付けなければならないということは情報発信の成果もあり意識できている、ただ実行の「朝食の欠食割合」については改善していません。また、肥満者の割合についても決して減ってはいません。啓蒙の活動はできているのかもしれないが、どのように実行していくのかが重要だと感じました。</p> <p>基本目標1の10ページの栽培体験や料理教室の部分ですが、コロナの影響がありますのでやむを得ないのかなと、C評価を取って気にする必要はないと思います。また、何年後かに同じ評価をしようと思ったら、若い世代に重点を置いた仕掛けができるといいのかなと感じました。</p>
<p>村田会長</p>	<p>実行性をどうするかという部分について、事務局で検討するようお願いいたします。</p> <p>それでは、全体を通して助言者の皆様、一言ずついただけますでしょうか。豊田加茂農林水産事務所林農政課長から、よろしいでしょうか。</p>
<p>林助言者</p>	<p>はい。今回の変更点につきまして、SDGsの目標を取組に当てはめるという点は評価をしたいなと思います。愛知県の食育いきいきプラン2025でもSDGsへの貢献という点を掲げているところです。特に若い世代にとってSDGsへの関心が高いと思いますので、SDGsへの関心度を逆手にとって食育への関心に取り込めるとよいのではないかと期待しています。</p>
<p>石川氏(代理出席)</p>	<p>委員の皆様がおっしゃっていたように、回答率が低いことが気になりました。園児・小学2年生の部分は特に回答率が低かったため、今後のアンケート等に生かせると思うので、どういった理由で低かったのか分析できるといいと思います。</p> <p>各自治体等での計画が単独・独立で減ってきているんなところで関わりあっていくと思いますので、是非SDGsも含め、関わり合いを持った計画を策定していただけるとよいと思います。</p>
<p>近藤助言者</p>	<p>最近家庭科の授業で、「柿・梨・ぶどうの特産物を知っていますか」という調査を行ったときに、畑が周りにある学校は98%知っていて、あまりない地域は68%という結果でした。柿・梨・ぶどうについて学びなが</p>

<p>野々山助言者</p>	<p>ら、どうやって周知をしていこうと考えたときに、どこで売っているかが分からないから、「販売している店舗に旗を立てたらいいのでは」や、「スーパーのここで売っているというポップをつくる」という意見が出ました。こどもたちは、料理に興味関心はあるけど、そういったことをする機会が無いから触れることができない状況なので、市を挙げて「朝食コンテスト」をしたりするのも手なのかなと思います。地産地消の推進というところもありますので、特産品だけではなく、地元の食品の食材大根、白菜、お米などアピールすることも大切だと思います。</p> <p>また、内閣府が毎月19日は食育の日と定めておりますので、「19日は家族で朝食を取ろう」など、食事の基本は家庭ですので、こどもから高齢者まで幅広い世代に呼びかけることができると思います。</p> <p>小学生や中学生の家庭科の授業でSDGsをやっているので、浸透している内容ですので、取り組みやすいのではないかと思います。</p> <p>アンケート結果を拝見しまして、朝食の欠食率が悪化している点については、保健師としても非常に残念な結果であります。朝食が食べられない理由として、時間が無いということを考えると、朝起きる時間が遅い、朝起きる時間が遅いということは夜寝るのが遅い、ということが考えられるため、生活習慣と大きく関わっているところは、小さいうちから呼びかけしていくことが保健師としての役割なのかなとお話を聞いて感じておりました。</p> <p>実際に、検診でメタボリックシンドロームの方への特定保健指導という指導に立ち会っていますが、朝食が良くない印象があります。例えば、毎日菓子パンを食べていて、お昼はまあまあ食べていらっしやって、夜は気遣っていらっしやるというところでは、先ほど兼平委員も仰っていましたが、知識があってバランスよく食事をとることを意識しているけど、朝食を食べていない人が割合として多くいるという実行ができていない状況だと思います。朝食を意識するだけで特定保健指導に来られる方もバランスのとれた食事を取れるようになる方もいらっしやいます。</p> <p>基本施策にある「バランスのとれた食生活の実践」は、曖昧な部分があるので、どのように目標達成をしていけばよいか、何をやったらよいか、具体的な部分が明確になると、朝食に野菜を食べるという着眼点を入れることも良いのではないかと思います。</p> <p>あと、ご飯を食べるには、歯や口が健康でないと食べることができないと思いますので、保険健康課としては食育の推進の中で歯の健康づく</p>
---------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

村田会長	<p>りに取り組んでいきたいと感じました。</p> <p>朝食に野菜を入れるということが大切だと思いますが、どのように実行していくかが重要なのではないかというご意見がありました。本日いただいた意見を今後の食育推進計画案作成の参考とさせていただきます。</p> <p>以上で、予定していた議事等はすべて終了いたしました。これをもちまして議長の職をおりて、進行を事務局にお返しさせていただきます。</p>
原田次長	<p>ありがとうございました。ここで事務局から連絡事項があります。</p>
出口主事	<p>事務局から連絡です。次回の会議は、次第に12月下旬開催予定としましたが、12月25日に開催予定です。開催通知は追って郵送しますので、開催時間や場所等は通知にてご確認ください。</p> <p>また、今後の予定としては、本日審議いただいた骨子を基に、第4次計画（案）を作成し、次回の会議で内容について審議いただきます。その後年明けの1月4日から2月5日まで市民の意見を求めるパブリックコメントを実施します。その後、パブリックコメントの意見を反映させた第4次計画の最終案を審議していただき、第4次計画を策定するという流れになります。よろしくお願いいたします。</p>
原田次長	<p>それでは、以上で令和5年度第2回みよし市食育推進会議を終了いたします。一同ご起立ください。一同礼。ありがとうございました。</p>

